

# よってたかって地域が育てる教育 ～香美市のキャリア教育～



平成30年度  
香美市教育委員会  
香美市立教育研究所  
キャリア教育通信  
No. 22



11月1日は高知県教育の日「<sup>こころざし</sup>志・とさ学びの日」  
(11月1日から7日まで「とさ学びの週間」)  
高知の教育について、いっしょに考えてみませんか？  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/manabinohi>

香美市では、豊かな教育環境を生かした教育活動の実現に向けて、4年前から地域や企業の協力を得て“土曜授業”を行っています。土曜授業は、家庭、学校、地域が一緒になって行う多様な学習（文化やスポーツ・体験活動など）を各学校で企画しており、子どもたちに土曜日における充実した学習機会を提供しています。香美市では、10月から12月にかけて行う土曜授業を、高知県教育の日の一環として位置づけています。



## 第5回香美市キャリアチャレンジデー

題字：山田高等学校2年生 清遠 一未さん

10月27日（土）、香美市内中学1・2年生約320人が高知工科大学に集まって、「キャリアチャレンジデー」が開催されました。今年度も香美市内外から20の企業団体の方を講師としてお招きし、「意志・役割・能力」をキーワードに職業についてのお話をさせていただきました。子どもたちが、この一日の授業を通して感じたことや考えたことを紹介します。



開会式の様子

どの仕事も地域や支えるものがあって、人のために動き、大変なことを乗り越えながら仕事に取り組んでいるんだと感じました。

このキャリアチャレンジデーで、社会はたくさんの人の協力があって動いていることが分かりました。働いている人は、好きなことを職業にしている人もいて楽しそうだと感じました。



開会式後、サポーターの方が子ども達を誘導してくれました。

# ブース講師の方の話を聞いて



ブース講師:高知新聞社

新聞記者という仕事は、たくさんを知れるのでわくわくする仕事かなと思っていました。もちろん、そういうこともたくさんあると言っていました。少し悲しいニュースも取材することがあるということを知りました。メンタルの弱い僕は苦手かもしれません。

新聞には、毎日たくさんの記事があるけれど、どうやってたくさんネタを探すのかとても気になっていました。今回、その疑問が解けてとてもよかったです。ありがとうございました。

私が心に残ったことは、ゲームクリエイターに必要なものは「チャレンジ精神」ということです。何事もチャレンジすることは大切なので、普段からいろいろなことにチャレンジしていきたいと思いました。そして、「好き」や「楽しい」と思えることを学びの中から見つけていきたいと思いません。トランプカードもいろいろな案が出ていておもしろかったです。

enishの公文さんは、鏡野中学校の卒業生です。中学校の時から簡単なゲームを作っていた話などもしてくれました。



ブース講師:株式会社 enish

★サポーターとして保護者・地域の方・工科大生・山田高校生、約120名のご協力をいただきました。ありがとうございました。



★今年度スペシャルトークセッションでご協力いただいた企業・団体の方々★

**香美市内** JA 土佐香美・土佐香美農協園芸部、物部森林組合、さくらベーカリー、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート、香美市立美良布保育園、高知工科大学  
**香美市外** 国際デザイン・ビューティカレッジ（建築・美容師）、高知菅公学生服株式会社、高知情報ビジネス&フード専門学校（パティシエ）、株式会社テレビ高知、株式会社高知新聞社、株式会社 enish、ちやがまらん、日本航空株式会社、高知県立のいち動物公園、高知県教育委員会事務局人権教育課、高知県立あき総合病院、自衛隊高知地方協力本部、高知県商工労働部

～ご協力ありがとうございました～